

兵庫県議会報告

第二百九十二回
定例議会

第二百九十二回 兵庫県議会閉会

2007年
10月9日



各種報告、行財政構造改革調査特別委員会設置が決まった後、第七十八号議案から第九十四号議案、認第一号から第七号、そして知事提案がなされました。詳しくは兵庫県議会のホームページにUPされています。下記URL参照(※)ください。知事提案の中で県財政の悪化について一番目述べられていましたが、行財政の構造改革について今後益々議論が深められてくることとなります。

↓大きなテーマは行財政改革であります。財源不足をどのようにまかなっていくのがポイントになります。市場原理至上主義がもたらす結果は実証済みですから官と民・国と県・県と市町の役割分担を考えていかねばなりません。

○代表質問(九月二十八日)

栗原一議員(自由民主党)藤井訓博議員(民主・連合兵庫)松田一成議員(公明党・県民会議)の順で行われました

○一般質問(十月一・二・三日)

十五名の議員がそれぞれ質問をいたしました。

↓本会議の一般質問が数日開催されました。一般質問にあたっては各議員は様々な分野にわたり当局に対して六項目程の質問をしました。行財政改革・産科医師不足・来年開催される環境大臣サミット・後期高齢者医療制度などの質問が多数ありました。

十月九日県議会閉会
兵庫県は六百二十億円の赤字が見込まれ厳しい財政状況のもと、今後の県政では地方分権に伴う権限委譲と行財政改革・地方議会改革が主要なテーマになってくると考えます。国から地方へ権限が移譲するだけでは、市民として相手方の役所が代わるだけで何も変わることはありません。

そのためには、政治や行政が信頼に値するものでなければならぬのは「必定」です。とにかく臆を出し切り、安心して暮らすことができ、チャレンジできる社会の構築のため改革を進めていかねばならないと改めて考える次第です。

(※)参照 URL <http://www.hyogokengikai.jp/regular/regular03.html>

いとう順一の政策

家庭・学校・地域それぞれの教育力を充実させ、更なる連携を図ります！

感性や個性を重視しすぎて、しつけやルールの重要性が軽視されてきました。子どもたちにとって家庭は学校であり、親は最初の先生です。精一杯「親業をこなせる為には、学校や地域との連携が不可欠です。また、がんばる先生を応援する仕組みをつくります。そして、子どもたちを暖かく見守る地域の創造も重要です。次代を担う子どもたちが夢と希望と共に明るく正しく育つことが私の願いです。

Blogより

2007年9月19日

・・・神戸市須磨区私立高校男子生徒(当時 18歳)が同級生らから金を要求され自殺した事件をうけて・・・

いじめによって命を絶たなくてはならない状況に追い込まれる事件が、後をたちませんが、残された家族はやるせないことでしょう。このように事件になり明るみになるといじめ問題は注目を浴びますが、事件になる前にいじめを阻止せねばなりません。周りの大人がサインを見逃さないということは根本なのでしょうが、社会全体として人に対する無関心さを無くしていかなければこのような事件は終わることのないように思います。数多くの非業の死を無駄にすることなく、家庭・学校・地域のより強い教育力を充実させていくために、頑張らなければと考える次第であります。

本日は宝塚西高校の陸上競技大会に出席させて頂きました。高校生たちが真面目に競技に取り組む姿勢をみて感心しました。頑張っている生徒には生徒の中から自然に大きな拍手応援がなされていることを大変嬉しく観戦させて頂きました。



ブログ毎週更新中！いとう順一HP

<http://www.jito.jp>